

アンケート本紙

京都大学大学院文学研究科「学生による授業評価」(大学院演習)

このアンケートは、文学研究科の授業について、院生の皆さんからの意見を聴き、授業・教育環境の改善に役立てようとするためのものです。なお1から4の回答にあたっては該当する項目に○印を付してください。5については率直な意見をお書きください。

あなたの専修 ()
授業科目名 ()
担当教員名 ()
あなたの学年 (修士 年次) (博士 年次)

1. この授業はどういう形式でしたか。

- a. 学生が選んだ研究テーマについてディスカッションする形式
- b. 特定の文献・テキストについて、学生が発表することを中心にする形式
- c. 教員の講義を中心とする形式
- d. その他 ()

2. あなたはこの授業にどれくらい出席しましたか。

- a. 80-100%出席した。
- b. 60-79%出席した。
- c. 40-59%出席した。
- d. 20-39%出席した。
- e. 0-19%出席した。

3. この授業が問題発見能力の向上に役立ちましたか？

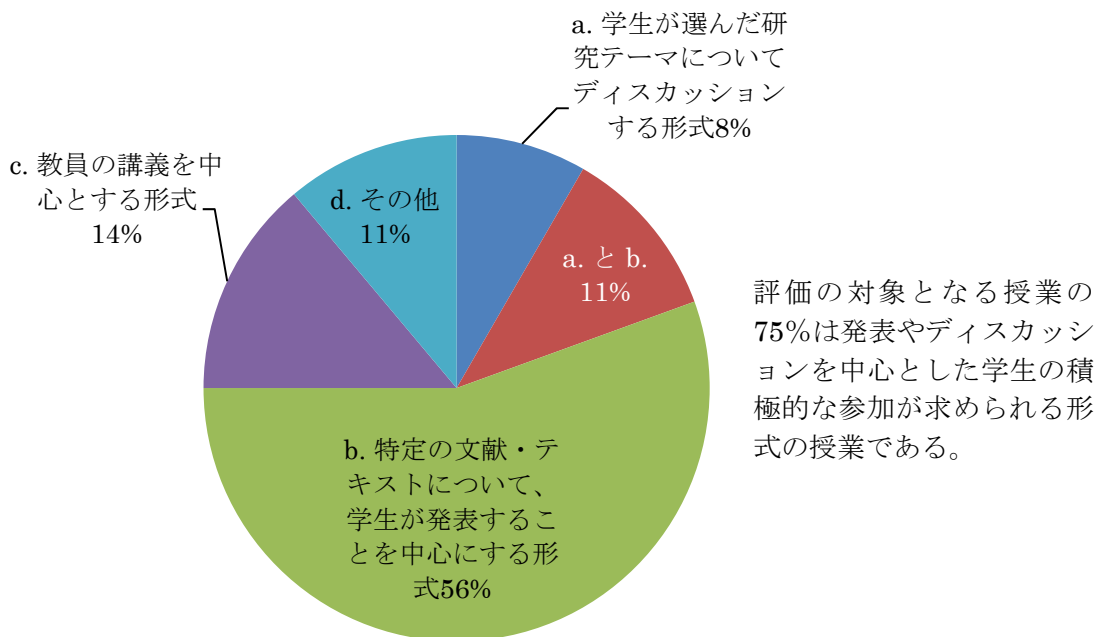
- a. 大いに役立った。
- b. ある程度役立った。
- c. どちらともいえない。
- d. あまり役立たなかった。
- e. ほとんど役立たなかった。

4. この授業が問題解決能力の向上に役立ちましたか？

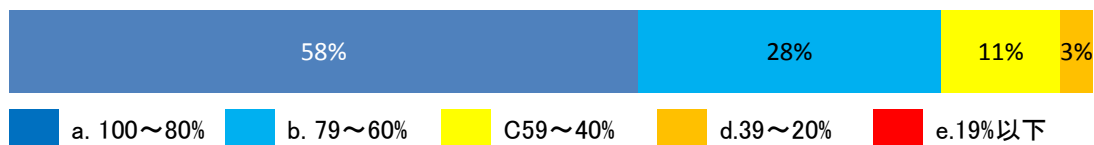
- a. 大いに役立った。
- b. ある程度役立った。
- c. どちらともいえない。
- d. あまり役立たなかった。
- e. ほとんど役立たなかった。

5. この授業についての感想、授業の内容・方法などについて希望、改善してほしい点、授業環境についての要望などを自由に書いてください。

1 この授業はどういう形式でしたか。

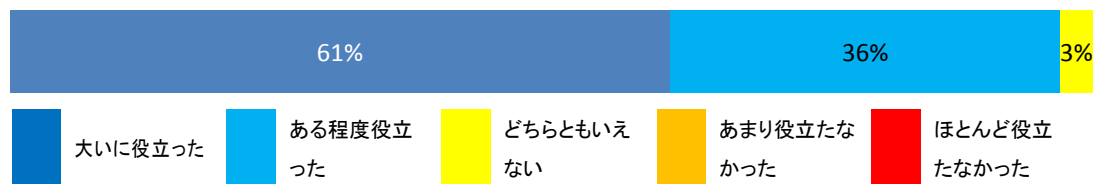


2 あなたはこの授業にどれぐらい出席しましたか。



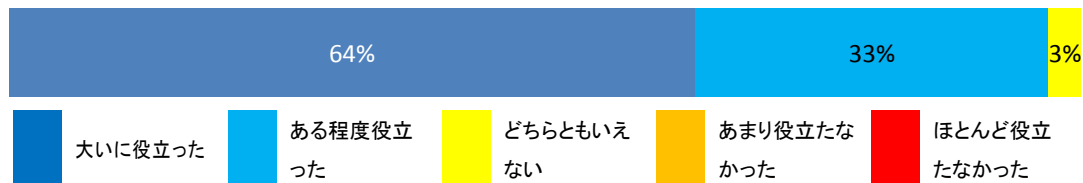
a. b. の回答をあわせると 86%以上となり、出席状況は良好といえる。修士の2回生や博士の1回生でやや出席率が落ちる（なお、これについての詳細なデータは省略）のは、論文や学会発表の準備等に時間をとられるせいかもしれない。

3 この授業が問題発見能力の向上に役立ちましたか。



授業を通して自分で問題を発見する力が向上したと考える学生が大多数であり、授業の成果に高い評価が与えられている。

4 この授業が問題解決能力の向上に役立ちましたか。



授業を通して自分で問題を解決する力が向上したと考える学生が大多数であり、授業の成果に高い評価が与えられている。

1. この授業はどのような形式でしたか。	人数	比率
a. 学生が選んだ研究テーマについてディスカッションする形式	3	8%
a. と b.	4	11%
b. 特定の文献・テキストについて、学生が発表することを中心にする形	20	56%
c. 教員の講義を中心とする形式	5	14%
d. その他	4	11%

2. あなたはこの授業にどれぐらい出席しましたか。	人数	比率
a. 80－100%出席した。	21	58%
b. 60－79%出席した。	10	28%
c. 40－59%出席した。	4	11%
d. 20－39%出席した。	1	3%
e. 0－19%出席した。	0	0%

3. この授業が問題発見能力の向上に役立ちましたか？	人数	比率
a. 大いに役立った。	22	61%
b. ある程度役立った。	13	36%
c. どちらともいえない。	1	3%
d. あまり役立たなかった。	0	0%
e. ほとんど役立たなかった。	0	0%

4. この授業が問題解決能力の向上に役立ちましたか？	人数	比率
a. 大いに役立った。	23	64%
b. ある程度役立った。	12	33%
c. どちらともいえない。	1	3%
d. あまり役立たなかった。	0	0%
e. ほとんど役立たなかった。	0	0%